

72 市町村&事務組合
プラスチック製容器包装 分別収集引取実績量の経年変化と
排出量減少(排出抑制)要因と効果
品質向上要因と効果

H20.9 プラスチック容器包装リサイクル推進協議会

全国72の自治体(事務組合を含む)が下記取り組み項目について行なった年度に、プラスチック製容器包装の排出量が、前年度に比較して減少したか、ペール品質のレベルが、前年度に比較して上がったどうかで判別し、取り組みのあった自治体件数を100として、排出量が減少したり、品質が向上した自治体数の割合

取り組み項目	ごみ有料化	レジ袋有料化	容リプラ有料化	広報強化	戸別収集	収集取り残し	中間処理徹底	ペール品質調査強化(再調査)	事業系一廃排除強化	分別区分変更	他施策*
自治体件数	11/20件	1/37件	6/11件	46/46件	8/14件	15/21件	14/15件	34/34件	22/23件	8/10件	30/36件
効果のあった割合	55%	3%	55%	100%	57%	75%	93%	100%	96%	80%	83%

分別収集区分の変更内容 (◎品質が向上、●排出量が削減)

- ◎●プラ識別マーク収集へ、汚れたもの、プラ製品は固形燃料へ
- ◎自治体合併時に、複合材も含め汚れたものは可燃へ分別 一部変更、
- ◎●PETボトルリサイクル全地域開始
- ◎●PETボトルを別分別収集へ
- ◎プラスチックの分別区分を一部変更
- ◎プラスチック資源分別から対象プラ・雑紙分別へ変更
- ◎硬質プラを別に分別
- ◎廃プラ可燃化